

教 育 研 究 業 績 書

2017年 5月 1日

氏名 北尾 吉孝 印

研 究 分 野	専 門 領 域
経営学	企業経営、経営組織、経営管理、経営戦略、ベンチャー企業
哲学	中国哲学・思想、儒教
経営に関する実務	企業経営、組織管理、経営戦略立案・遂行、ベンチャー企業創設・経営
哲学に関する実務	中国哲学・思想及び儒教に関する出版及び講演活動

授 業 ・ 教 育 向 け 業 績

著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(区分) OIC				
1講演会		2017年4月	SBI大学院大学金融研究所・一橋大学大学院共催	FinTechカンファレンス基調講演「フィンテック革命とその戦士達」(東京)

学 術 理 論 的 研 究 業 績

著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(区分)				

実 務 的 業 績

著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(区分) OIC				
1講演会		2012年7月	㈱致知出版主催	森信三セミナー「人生二度なし」—森信三先生に学ぶ人間力(東京)
2講演会		2012年7月	関西経営管理協会主催	夏期全国経営者大会「グローバル時代の企業経営と指導者の役割」(東京)
3講演会		2012年8月	一般社団法人 実践人の家主催	実践人の家 夏季研修会「我々は何を為すべきか〜森信三先生の教えに学ぶ〜」(兵庫)
4講演会		2012年10月	日本経営合理化協会主催	食百年の会 第5期総会「中国古典に学ぶ経営の王道と実践」(東京)
5講演会		2013年1月	地方銀行協会主催	第257回地方銀行協会主催 銀行講座「これからの企業経営と次世代リーダーの役割」(東京)
6講演会		2013年2月	一般社団法人 パッションリーダーズ主催	リーダーズ基調講演「私の経営理念とその実践」(東京)
7講演会		2013年3月	㈱ビジネスバンクグループ主催	プレジデントアカデミー プレミアムセミナー「北尾流経営哲学の真髄」(東京)
8講演会		2013年3月	公益財団法人郷学研修所・安岡正篤記念館主催	第61回地方人材と郷学作興の研修会「今に生きる『安岡教学』」(埼玉)
9講演会		2013年9月	TKC東京都心会主催	第18回TKC東京都心会秋期大学「直観力とは何か、それをどう磨くのか」(東京)
10講演会		2013年12月	ふるさとテレビ主催	2013年ふるさとテレビ第12回(通算第67回)月例セミナー「日本経済に追い風は吹き続けるか?」(東京)

11講演会		2014年1月	鹿児島大学法文学部関東地区同窓会主催	第34回鹿児島大学法文学部関東地区同窓会フォーラム「中国古典から学んだ経営学」(東京)
12講演会		2014年4月	トマト銀行主催	岡山トマトクラブ定例会「中国古典から学んだ経営学」(岡山)
13講演会		2014年4月	小泊会計事務所主催	第39回元気になる講演会「何のために働くのか」(大阪)
14講演会		2014年10月	国会木鶏クラブ主催	第7回国会木鶏クラブ「時代を凝視する一人格を高める」(東京)
15講演会		2014年10月	公益社団法人日本青年会議所主催	第63回全国大会「気概と情熱あふれるリーダーとなれ!～意気あふれる人財が創り出す輝かしい未来への一歩～」(愛媛)
16講演会		2015年1月	日本経営合理化協会主催	第129回春季全国経営者セミナー『ビジネスに活かす「中国古典」』(東京)
17講演会		2015年12月	企業家倶楽部主催	第173回企業家ネットワーク勉強会「2016年を占う」(東京)
18講演会		2015年12月	慶應義塾大学主催	寄付講座「経済学で考える人生設計勉強・家庭・キャリアの選択」-「仕事とは何か」(神奈川)
19講演会		2016年2月	自衛隊幹部学校主催	リーダーシップ講座「気概と情熱あふれるリーダーを目指して」(東京)
20講演会		2016年2月	経済界主催	第453回経済界倶楽部東京2月例会「自修自得す」(東京)
21講演会		2016年2月	神戸商工会議所主催	時代の流れを読み解く“経営トップセミナー”「北尾流経営哲学の真髄」(兵庫)
22講演会		2016年3月	致知出版社主催	第5回社長の『徳望を磨く』人間学塾「古典に学ぶリーダーシップの神髄」(東京)
23講演会		2016年5月	シティグループ証券主催	慶應義塾大学グローバルセキュリティ研究所寄付講座「グローバル金融制度論」-「中国古典と企業経営」(東京)
24講演会		2016年7月	ベクトル主催	第1回IPO倶楽部 発足記念基調講演会「上場企業経営者に向けて」(東京)
25講演会		2016年8月	自衛隊幹部学校主催	リーダーシップ講座「リーダー論」(東京)
26講演会		2016年9月	松下政経塾主催	第1回講義:松下政経塾-人間学・経営者論-「中国古典に学ぶ人間学」(東京)
27講演会		2016年9月	金融庁・日本経済新聞社主催	FinSum:フィンテック・サミット「地域金融とフィンテック」(東京)
28講演会		2016年10月	韓国・毎経メディアグループ主催	THE 17th WORLD KNOWLEDGE FORUM「日本におけるFintech革命(ケーススタディ:SBIホールディングス)」(韓国)
29講演会		2016年10月	辻・本郷 税理士法人主催	Hongo CLUB(第250回)「リーダーになるための人間学」(東京)
30講演会		2016年11月	ネクシィーズ(パッションリーダーズ名古屋支部)主催	パッションリーダーズフォーラム in名古屋「名古屋の経営者が創る、経営者のためのフォーラム」(愛知)
31講演会		2016年11月	松下政経塾主催	第2回講義:松下政経塾-人間学・経営者論-「『小学』・『大学』に学ぶ」(東京)
32講演会		2016年12月	FinTech協会主催	FinTech Japan 2016「Building a Fintech 2.0 ecosystem ~SBIグループにおけるFinTech戦略~」(東京)
33講演会		2016年12月	朝鮮日報主催	Korea Financial Planning Expo 2017「私の投資哲学と投資手法」(韓国)

34講演会		2017年2月	日経FinTech主催	Nikkei FinTech Conference 2017「FinTechは何を破壊し、何を創造するのか」(東京)
35講演会		2017年2月	松下政経塾主催	第3回講義：松下政経塾-人間学・経営者論-「『孟子』に学ぶ」(東京)
36講演会		2017年3月	日本学生支援機構主催	トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム事後研修「グローバルリーダー基調講演」(東京)
37 ビジネスに活かす「論語」	単著	2012年5月	㈱致知出版社	『論語』を人生に役立てていく、また仕事に役立てていく、それが正しく行われれば人生は輝きに満ちたものになるはずである、という人間学の観点から仕事の思想を語った書。
38 日本経済に追い風が吹いている	単著	2012年6月	㈱産経新聞出版	中国古典から身につけた倫理的価値観や、権利と義務を踏まえ個人の自由を最大限に尊重すべきという自由主義の思想を経営哲学にもち、日本や世界で起こる経済的諸問題について、2010年10月以降の感懐を記した書。「日本の論点」「世界の論点」「2012年の論点」と計12の論点から日本がなすべきことを論じている。
39 仕事の迷いにはすべて「論語」が答えてくれる	単著	2012年8月	㈱朝日新聞出版	座右の書としてきた『論語』より、ビジネスの要諦に通じる論語の言葉、解釈を、自身の経験を交えて紹介する書。
40 先哲に学ぶ	単著	2012年11月	㈱経済界	昨年までの『時務を識る』等に続き、自身のブログを書籍化したブログ本第五弾。企業経営者としての立場から、日本経済、世界経済、政治、社会問題等自身を取り巻く昨今の諸環境の変化について、マクロ及びミクロの視点から語った書。
41 賢人の中国古典	共著	2013年6月	㈱幻冬舎	現代ビジネスにも通じる人間力を学ぶために、論語、孫子、三国志から得られる珠玉の言葉をポイント解説した書。
42 出光佐三の日本人にかえれ	単著	2013年10月	㈱あさ出版	出光興産の創業者で、ベストセラー『海賊とよばれた男』のモデルとなった出光佐三氏を取り上げた書。権力や既得権益と闘い、自主独立を貫き続け、日本にとどまらない世界平和、社会貢献等の高い理想を掲げ、その実現に向け邁進した出光佐三氏の言葉を分かりやすく解説。
43 時弊を匡正す	単著	2013年11月	㈱経済界	自身のブログを書籍化したブログ本第六弾。東西の哲学、歴史書を手掛かりに、日本経済・諸制度、国際問題、働き方、いじめ等の現代の諸問題を考え、在り方を説いた書。
44 人生を維新す	単著	2014年11月	㈱経済界	思索を綴ったブログ書籍化第七弾。集団的自衛権、原発問題、教育改革、リーダー論、死生観等々を、中国古典・東洋史観の知恵を元に、文化・伝統・歴史を守りつつ日本人としてどのように行動していくかについて説いた書。
45 強運をつくる干支の知恵	単著	2014年12月	㈱致知出版社	日本では古いと誤解されやすい干支。それを、東洋史観に始まり、干支の由来、十干十二支の意味などをわかりやすく解説。干支によってどのようにその年を読み、ビジネスに生かすか、そのヒントに満ちている一冊。
46 実践版 安岡正篤	単著	2015年7月	㈱プレジデント社	大正、昭和時代、政財界のアドバイザーとして活躍した伝説の人物である安岡正篤について書かれている。自身も高校時代から安岡氏の教えを書物を通じて学んできており、私淑する思想・哲学者の一人である安岡氏の教えを、自分自身の経験談を交えて現代風に解説した書。
47 自修自得す	単著	2015年11月	㈱経済界	自身のブログを書籍化したブログ本第八弾。東西の哲学、歴史書を手掛かりに現代の諸問題を考え、激動の今こそぐらつかない「恒心」を持つことを説いた書。
48 日に新たに	単著	2016年11月	㈱経済界	自身のブログを書籍化したブログ本第九弾。国内外の政治、経済、教育から、晩婚化、来たるIoT時代等の現代の問題を過去の叢智で読み解いた書
49 修身のすすめ	単著	2016年12月	㈱致知出版社	いかに自らを磨き、高めてきたのかについて語っている書。できるビジネスマンになるための日々の心得や具体的な実践法を伝授する若い世代に贈るビジネスマンの指南書
50 成功企業に学ぶ 実践フィントック	共著	2017年3月	㈱日本経済新聞出版社	昨今の金融業界における大きな環境変化がもたらす新しい金融ビジネスの台頭やその潮流について、SBIグループの投資先FinTechベンチャーの先端事例や成功事例を取り上げながらFinTechについて解説した書籍。

教 育 研 究 業 績 書

2017年 5月 1日

氏名 藤原 洋 (最終学位 東京大学 (工学博士))

研 究 分 野	専 門 領 域
電気電子工学	デジタル信号処理、通信ネットワークアーキテクチャ

授 業 ・ 教 育 向 け 業 績				
著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要

学 術 理 論 的 研 究 業 績				
著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要

実 務 的 業 績				
著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(区分) OIC				
3. デジタル情報革命の潮流の中で～インターネット社会実現へ向けての60年自分史～	単著	2014/9	アспект	
4. 日本はなぜ負けるのか～インターネットが創り出す21世紀の経済力学～	単著	2016/6	インプレスR&D	

セ ミ ナ ー ・ 講 演 会 等			
セミナー等の名称	時期		概 要
『AI革命で進化するフィンテック』	2016年12月	SBI大学院大学金融研究所/ブルームバーグ L.P.	
『FinTechで日本の産業界が変わる』	2017年3月	SBI大学院大学金融研究所/ブルームバーグ L.P.	
SBI大学院大学金融研究所発足記念『FinTechカンファレンス』	2017年4月	一橋大学国際企業戦略研究科	

教 育 研 究 業 績 書

2017年 5月 1日

氏名 重田 孝夫 印

研 究 分 野	専 門 領 域
---------	---------

経営学	人的資源管理、組織行動、リーダーシップ、組織変革、人材育成
-----	-------------------------------

--	--

授 業 ・ 教 育 向 け 業 績

著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(区分) OIC				
1. 『コーチング・スキルを補う目標設定の工夫と面談の進め方』	単著	2013年7月	日本支援対話学会「支援対話研究」第1号	マネジャーが、十分なコーチング・スキルを有していなくても、現職者本人の自律性を損なうことなく目標設定面談を円滑に実施するための進め方と工夫についての考察。
2. 『部下とのコミュニケーションの鍵～部下の考え・意見を聞き出す』	単著	2013年10月	SBI大学院紀要第1号	部下との1 on 1の月次レビュー等の面談において、部下の考えや意見を聞き出すことの重要を説明するとともにどうするとよいかを解説。
3. 『次世代リーダーの育成：～その優先度と後継者育成計画のあり方を考察する～』	単著	2014年10月	SBI大学院紀要第2号	問題が発生してから対処するのでは間に合わない次世代のリーダーを育成することの重要性とそのための後継者育成計画のあり方についての考察。
4. 『行動計画の意義と作り方～能力開発計画を念頭に～』	単著	2015年10月	SBI大学院紀要第3号	粘り強さや意志力に頼るだけでなく、設定した目標を達成するまで諦めずに取り組むための、目標達成のための有効な対策をどう展開するかを考え、心理面の働きも踏まえての具体的な行動計画の作成方法を解説。
5. 『内発的動機づけを高める月次レビューのすすめ』 (PRJ)	単著	2016年1月	日本支援対話学会「支援対話研究」第3号	内発的動機づけの観点から、単に目標設定と評価の面談の間に中間レビューを行うだけでなく、月次レビューを1 on 1で行うことの重要性とどう行うかを考察。(査読あり)
6. 『家族システムの世界の多様性』	単著	2016年12月	SBI大学院紀要第4号	フランスの人口・社会学者エマニュエル・トッドが唱える家族システムの視点から世界の多様性を捉え、グローバル化の進展の中での課題を考察。

学 術 理 論 的 研 究 業 績

著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(区分)				

実 務 的 業 績

著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(区分) OIC				
1. 『職場風土と管理スタイルの診断と研修』		2014年～2015年		部署単位での職場風土を診断し、管理者の行動スタイルとの関係を分析し、職場の生産性向上のための行動変革の教育を実施。

教 育 研 究 業 績 書

2017年 5月 1日

氏名 守屋 洋 印

研 究 分 野	専 門 領 域			
授 業 ・ 教 育 向 け 業 績				
著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(区分) FIN				
学 術 理 論 的 研 究 業 績				
著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(区分) FIN				
実 務 的 業 績				
著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(区分) OIC				
孟子	単著	2012年11月	PHP研究所	孟子(名は軻)は孔子の教えを受け継ぎ、性善説を唱え、仁と義に基づく王道政治の実現をめざした思想家。その著「孟子」七篇から核心的なことばを七十余り選び、わかりやすい解説を付している。孟子の思想に参入する入門書。
厚黒学	単著	2013年6月	学研	中国近代の思想家李宗吾(1879～1943年)の著。「厚」(顔の皮の厚さ)と「黒」(腹黒さ)の二つが乱世に大を成す秘訣だと説き、歴史上の多くの人物を例に引いて論証しようとしたもの。さわりの部分を翻訳し、解説を加えている。
荀子	単著	2014年2月	PHP研究所	荀子は戦国時代末期の思想家。孔子の教えを受け継ぎながら性悪説を唱え、「礼」と「義」による規範の確立が急務だと主張した。その著「荀子」三十二篇から八十近くの名言を選び、わかりやすい解説を付した。もの。儒家から出て儒家のワクをはみ出していった思想家の全容にふれることができる。

黄昏三国志	単著	2015年4月	KADOKAWA(株)	三国志の正解は、ふつう蜀の丞相諸葛亮の死をもって終わりを告げるような印象が深いのだが、じつはこのあともまだ続いていく。魏、蜀、呉の三国はその後どうなったのか。それぞれにどんな内憂外患に直面し、なぜ滅亡の道を歩んでいったのか、そのあたりに焦点をしばっている。
菜根譚	単著	2015年6月	SBクリエイティブ	明代の洪自誠の著。儒教、道教、仏教の三つの教えの上に立って、人生の生き方を説いた古典。全部で三百六十ほどの短いことばから成っているが、そのなかから七十のことばを精選し、わかりやすい解説をつけている。
貞観政要	単著	2015年9月	筑摩書房	唐代の史家呉兢の撰。唐の二代目皇帝である太宗李世民と重臣たちとの間にかわされた政治問答をまとめた古典で、昔から帝王学の教科書として読まれてきた。全二百八十篇の説話のなかから七十篇を訳出し、必要な注をつけ、わかりやすい解説を付したもの。
菜根譚の言葉	単著	2016年3月	PHP研究所	菜根譚のなかから百五十余りの名言を選び、わかりやすく現代語訳したうえ、理解に資するため、それぞれに必要なコメントを付したもの。初心者向けの入門書である。
老子	単著	2016年6月	SBクリエイティブ	道家の代表的な書。万物の根源に「道」なる存在があるとし、「道」に則った無為自然の生き方を説いている。全部で五千字あまり、八十一章から成っているが、そのなかから四十の名言を選び、老子思想の魅力をわかりやすく説きあかしている。
教養としての中国古典	単著	2016年7月	プレジデント社	孫子、論語、老子、韓非子、呻吟語、菜根譚、史記、三国志など、主な中国古典十四冊をとりあげて解説を加えたもの。それぞれの古典の魅力を伝えるとともに、現代を生きるための知恵を引き出している。中国古典に参入する入門書といってよい。
科学者と中国古典名言集	共著	2016年11月	朝日学生新聞社	東京理科大学の藤嶋昭学長が世界の科学者が語った名言を選び、それに対応する言葉を中国古典から収録して、それぞれに解説を付したもの。東西の英知を集め、理系のための中国古典入門ともなっている。
リーダーに絶対役立つ韓非子	単著	2017年2月	PHP研究所	韓非は法家の理論を集大成した思想家。その著韓非子は五十五篇から成っており、自説を補強するため多くのエピソードを引いている。本書はそれらのエピソードを重点的にとりあげ、韓非子の思想をわかりやすく解説したもの。
論語	単著	2017年3月	SBクリエイティブ	論語二十篇から七十余りのことばを選んで、孔子の思想を解説したもの。まず孔子とはどんな生涯を送った人物なのかをとりあげ、そのあとで、孔子の教えから今何を学ぶべきかを説いている。

教 育 研 究 業 績 書

2017年 5月 1日

氏名 島宗（石川）秀樹 印

研 究 分 野	専 門 領 域
経済学	国際経済学、組織経済学、評価、ファイナンス、経営品質

教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項

事 項	年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例	2011年度5月～現在	ミクロ経済学、マクロ経済学各30時間の講義をYoutubeおよびリアルガイドにアップロードし、学生が視聴できるようにした。
	2015年4月～	学生が売り手と買い手のチームに分かれて企業買収交渉を行うM&Aゲームを考案し、ファイナンスの対面授業で取り入れた。
2 作成した教科書、教材	2007年8月 2007年10月 2007年10月 2008年4月 2008年8月 2009年4月 2009年6月 2009年6月 2010年1月 2010年4月 2010年8月 2010年10月 2011年2月 2011年5月 現在	試験攻略 新経済学入門塾Ⅰマクロ編 試験攻略 新経済学入門塾Ⅱミクロ編 試験攻略 新経済学入門塾Ⅲ上級マクロ編 試験攻略 新経済学入門塾Ⅳ上級ミクロ編 試験攻略 新経済学入門塾Ⅴ論文マスター編 試験攻略 新経済学入門塾Ⅵ計算マスター編 経済学と経済学に必要な数学がイッキにわかる！！ 単位が取れるマクロ経済学ノート 単位が取れるミクロ経済学ノート 試験攻略 新経済学入門塾Ⅶ難関論点マスター編 ケーススタディーで学ぶ入門ミクロ経済学 石川秀樹の経済学入門ゼミ 単位が取れる経済学ノート 速習マクロ経済学 速習ミクロ経済学 「MBA講義 ファイナンス」を執筆中（2018年夏出版予定）
3 教育上の能力に関する大学等の評価		
4 実務の経験を有する者についての特記事項		
5 その他	なし	

職 務 上 の 実 績 に 関 す る 事 項

事 項	年 月 日	概 要
1 資格、免許	なし	
2 特許等	なし	
3 実務の経験を有する者についての特記事項	なし	メーカー・流通業・県庁・農協などの経営評価、海外のプロジェクトファイナンスの実行、外国為替管理、アンチダンピング提訴対応、鉄鋼輸出企画の経験あり。

研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項

別記様式第4号（その2） （著書）	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
【査読付】「『学びの共同体』とは何かー「学習する組織」との違いに焦点を当ててー」	単著	2013年7月		本稿の目的は「学びの共同体」の概念を、特に「学習する組織」との比較において明らかにすることである。 「学びの共同体」は知的社会における自律的学校経営システムとしてアングロ・サクソン諸国の研究者に注目されている。しかしながら、その概念については、学者によって意味が異なり、類似概念である「学習する組織」と同じように用いられることもある。そこで、本稿では、Sergiovanniが提唱する「比喩としての共同体」と「比喩としての組織」の概念を用いて、8つの研究（内3つは「学習する組織」、5つは「学びの共同体」）における「学びの共同体」と「学習する組織」の意味を分析し、比較できることを示す。

量的・質的金融緩和についての考察ーアベノミクス第一の矢「大胆な金融緩和」の理論的根拠の検討ー	単著	2013年10月	SBI大学紀要 第1号 SBI大学大学院経営管理研究科	本稿では、まず、「量的・質的金融緩和」の主張の基盤となる経済理論を説明し、政策責任者の著書から政策責任者の個人的見解を分析する。そして、「量的・質的金融緩和」への反対論の主な根拠を明らかにした上で、量的・質的金融緩和が所期の効果を挙げうるかどうかを6つの論点に分けて検討する。
個人の資産運用についての一考察～ファイナンス理論と行動経済学の視点から～	単著	2014年10月	SBI大学紀要 第2号 SBI大学大学院経営管理研究科	本稿では、ファイナンス理論に基づいて投資家の合理的な行動について考える。次に、日本においても個人投資家の現状が、合理的な投資行動とはかけ離れていることを指摘し、その乖離について行動経済学のフレームワークを活用して説明する。
地方創生におけるSBI大学院大学の役割	単著	2015年10月	SBI大学紀要 第3号 SBI大学大学院経営管理研究科	本稿では、まず地方創生の意味および従来の地方活性化策との異同を明らかにし、次に、経済学の視点から地方創生の取り組みを考える。そして、地方創生における大学の役割について考え、最後に、大学の特徴と全国各地で地方創生を担う主体として活躍している修了生の経験談から、SBI大学大学院の果たすべき役割について考察する。
東アジアにおける鉄鋼業の構造変化ー世界的な過剰生産能力問題へいかに対応するかー	単著	2016年10月	SBI大学紀要 第4号 SBI大学大学院経営管理研究科	鉄鋼業における世界的な過剰生産能力から市況が低迷している。それにもかかわらず、東アジアでは、さらなる大型設備投資が計画されている。本稿では、鉄鋼需要が増加し、鉄鋼の自給率を高めようというアジア諸国の動きを整理するとともに、過剰生産能力解消という課題解決のために必要な研究課題を明らかにする。
(その他)			なし	

教 育 研 究 業 績 書

2017年 5月 1日

氏名 小林 英幸 印

研 究 分 野	専 門 領 域			
管理会計	製品開発、原価企画			
授 業 ・ 教 育 向 け 業 績				
著書, 学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所, 発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(区分) ACT				
『コストデザイン—トヨタ/研究者の実践コミュニティ理論』	共編	2015.3	大阪公立大学共同出版 会	トヨタ自動車の製品開発と原価企画について、トヨタ自動車技術部と研究者の共同により執筆
学 術 理 論 的 研 究 業 績				
著書, 学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所, 発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(区分) ACT, PRJ				
Examination of Cross-Functional Activities Facilitated by Absolute Value Target Costing and Committee Activities at Toyota Motor Corporation	単著	2014.6	Asia-Pacific Management Accounting Journal	トヨタ自動車の「絶対値原価企画」と「委員会活動」が部署横断的な活動を促進する実態とその背景について
実 務 的 業 績				
著書, 学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所, 発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(区分) OIC				

教 育 研 究 業 績 書

2017年 5月 1日

氏名 藤田 勉 印

研 究 分 野	専 門 領 域			
金融市場、会社法、金融法制	コーポレートガバナンス、金融規制			
授 業 ・ 教 育 向 け 業 績				
著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(区分) FIN				
1. 日本企業のためのコーポレートガバナンス講座	単著	2015年	東洋経済新報社	
2. 金融緩和はなぜ過大評価されるのか	単著	2013年	ダイヤモンド社	
3. 円高はどこまで進むのか	単著	2012年	日本経済新聞出版社	
学 術 理 論 的 研 究 業 績				
著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(区分) FIN				
1. グローバル金融制度のすべて	単著	2012年	金融財政事情研究会	
2. グローバル金融規制入門	単著	2015年	中央経済社	
3. コーポレートガバナンス時代のROE戦略	単著	2016年	中央経済社	
4. バブル後25年の検証	共著	2016年	東京書籍	
5. バブルは10年に一度やってくる	単著	2013年	東洋経済新報社	
実 務 的 業 績				
著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(区分) OIC				
1. 新会社法で変わる敵対的買収	共著	2005年	東洋経済新報社	
2. 新会社法で企業経営と株式投資はこう変わる	単著	2005年	インデックス・コミュニケーションズ	
3. 安倍晋三の経済政策を読む	単著	2006年	インデックス・コミュニケーションズ	
4. 三角合併とTOBのすべて	共著	2007年	金融財政事情研究会	
5. M&Aで生きる企業消え去る企業	共著	2007年	PHP出版	
6. サブプライム後のマネー経済入門	単著	2008年	毎日新聞社	

7. オバマのアメリカ経済入門	共著	2008年	毎日新聞社	
8. はじめてのグローバル金融市場論	共著	2009年	毎日新聞社	
9. ブルーオーシャンとコーポレートブランド	単著	2010年	毎日新聞社	
10. 上場会社法制の国際比較	単著	2010年	中央経済社	
11. 震災で日本経済はどうなるか	単著	2011年	日本経済新聞出版社	
12. バーゼルIIIは日本の金融機関をどう変えるかーグローバル金融制度改革の本質	共著	2011年	日本経済新聞出版社	
13. 新興国投資ガイドブック	単著	2011年	東洋経済新報社	
14. グローバル金融制度のすべて	単著	2012年	金融財政事情研究会	
15. 円高はどこまで続くかー為替レートが決まる本当の理由	単著	2012年	日本経済新聞出版社	
16. グローバル通貨投資のすべて	単著	2012年	東洋経済新報社	
17. グローバル株式投資ガイドブック	単著	2012年	東洋経済新報社	
18. シェール革命で日本が再浮上する	単著	2013年	毎日新聞社	
19. 金融緩和はなぜ過大評価されるのか	単著	2013年	ダイヤモンド社	
20. バブルは10年に一度やってくる	単著	2013年	東洋経済新報社	
21. 2014-2015 世界のマネーは米国に向かう	単著	2013年	ダイヤモンド社	
22. 2020 世界のマネーは東京に向かう	単著	2014年	毎日新聞社	
23. グローバル金融規制入門	単著	2015年	中央経済社	
24. 日本企業のためのコーポレートガバナンス講座	単著	2015年	東洋経済新報社	
25. 世界市場を動かす5つの歴史的な視点	共著	2015年	東洋経済新報社	
26. ギリシャ危機後のマネー経済入門	単著	2015年	毎日新聞社	
27. 最強通貨ドル時代の投資術	単著	2015年	平凡社新書	
28. コーポレートガバナンス時代のROE戦略	単著	2016年	中央経済社	
29. バブル後25年の検証	共著	2016年	東京書籍	

30. グローバル投資のための地政学入門	共著	2016年	東洋経済新報社	
31. AI革命で日本株は復活する	共著	2016年	東洋経済新報社	
32. フィンテック革命の衝撃	単著	2015年	平凡社新書	

教 育 研 究 業 績 書

2017年 5月 1日

氏名 細沼 諒芳 印

研 究 分 野	専 門 領 域
経営学	経営戦略 経営組織 国際経営 人的資源管理 経営管理

授 業 ・ 教 育 向 け 業 績

著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(区分) OIC				
1. 公開講座 (SBI大学院大学主催)		2013年6月	グローバル経営における「意思」と「仕組み」～中国カリスマ経営者張瑞敏に学ぶ	ハイアールの経営者張瑞敏を取り上げ、ハイアールの経営戦略と経営者の経営哲学について講義した。
2. 公開講座 (SBI大学院大学主催)		2014年7月	「中国市場戦略」体験授業	中国市場へ進出するための必要な知識及び、中国におけるビジネスのヒントとなるものなどについて講義した。
3. 公開講座 (SBI大学院大学主催)		2015年6月	「近代経営者哲学研究」体験授業	日本資本主義の父と呼ばれる実業家渋沢栄一と中国の実業家陳嘉庚（ちんかこう）を取り上げて、彼らの生涯、倫理的価値観、経営の方法について講義した。
4. 公開講座 (SBI大学院大学主催)		2015年12月	「中国市場戦略」体験授業	中国市場へ進出するための必要な知識及び、中国におけるビジネスのヒントとなるものなどについて講義した。
5. 公開講座 (SBI大学院大学主催)		2017年2月	「グローバルマーケティング」公開講座・パネルディスカッション	「グローバルマーケティング」の公開講座において、以下のテーマでパネルディスカッションを行った。 1. 日本企業として 海外進出をはかる際に抑えておくべき強みとなる点と海外市場エリアに特徴的なニーズとその対応 2. 国際マーケティングを実現できるグローバルな人材を育てるために日本企業がすべきことは？ 3. 日本社会が国際化を実現していくために、政府や教育制度はどのように変わるべきか？

学 術 理 論 的 研 究 業 績

著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
1. 「ハイアールに見る経営の基本コンセプトと中国古典思想 — 張瑞敏の経営手法に関する一考察 —」	単著		[SBI大学院大学紀要] 第一号[2013年] pp. 76-84	本論文は主としてハイアールの経営者、張瑞敏に焦点を当て、ハイアールの成長を支える経営の基本コンセプトが中国古典思想とどのような関連性を有しているかについて考察するものである。
2. 「中国民営企業華為（ファーウェイ）の成長戦略について」	単著		SBI大学院大学紀要] 第二号[2014年] pp. 75-87	華為は「中国のシスコ」と呼ばれる通信設備と携帯端末などを製造している民間企業である。厳しい競争環境に置かれている民間企業の華為は1987年に創業し、2011年、通信インフラでは世界第2位、光ネットワークやパケットコアでは1位を勝ち取り、世界140以上の国々に事業拠点を持つ巨大企業と成長してきた。本論文は華為の成長戦略と人材戦略を取り上げたものである。

3. 「華為創業者任正非の経営哲学について」	単著		SBI大学院大学紀要]第三号[2015年] pp. 91-100	華為の成功を生んだのは創業者の任正非である。任正非が最も強く強調してきたことは「生き延びるため、顧客を中心に、奮闘者を根幹とし、苦しい奮闘を続ける」という核心的価値観である。それを実践するために、任正非は顧客至上主義などをビジネス戦略に加え、白黒にこだわらず中間の「灰色」を受け入れる考え、従業員持株制度を活用して組織を活性化させる試みを行った。さらに、中国的思考法をうまくアレンジして組織経営に生かしている。これらの試みを真剣にひたすらやり続けてきたことが華為の真の強みと考えられる。
4. 「儒教の観点から見た近代華僑経営者陳嘉庚の経営哲学の特徴」	単著		SBI大学院大学紀要第四号[2016年] pp. 63-74	華僑実業家陳嘉庚(チンカウ)は中国近代史に名を残している実業の経営者の一人である。彼は特に儒教の教えを尊重してきたことから、「儒商」とも呼ばれている。1874年、陳嘉庚は福建省廈門集美村に生まれた。中国の伝統教育を受けていた陳嘉庚は儒教の教えに基づいて、東南アジアでビジネスを展開して成功を収めた。彼は財産を築き上げたと同時に、祖国、故郷への責任感が強く、積極的に祖国、故郷の発展に力を注いだ。本研究は近代経営者陳嘉庚の経営哲学と儒教文化との関係を考察したものである。
(区分) PRJ				
1. 「グローバル経済から見た中国第12次5ヵ年計画の特質～成長戦略の転換に対応する国と企業の動きを中心に～」	単著	2012年7月	実践経営学会機関誌(第49号) pp. 59-66	本論文は、第12次5ヵ年計画の内容をレビューし、グローバル経済における中国今後の成長戦略について研究し、さらに、中国消費市場の特徴と国内企業の動きについて考察を行った。
2. 中国郷鎮企業の成長戦略について—華西村成長戦略の事例を中心に	単著	2013年4月	実践経営学会機関誌(第50号) pp. 65-76)	本論文はこれまで郷鎮企業の成長モデルを整理し、郷鎮企業の発展要因について分析した。さらに、近年、「天下第一村」と呼ばれる華西村の成長戦略に焦点をあてて、郷鎮企業が今後更なる成長を遂げていくための課題について検討した。
3. 「現代中国における成功企業の経営モデルを探る—華為の創業経営者・任正非の経営哲学を中心に—」	単著	2016年3月	実践経営学会機関誌(第53号) pp. 17-29	本研究は中国を代表する巨大企業華為を取り上げ、創業者任正非の経営哲学を中心に考察したものである。
実 務 的 業 績				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(区分) OIC				
1. 「中国第一村」華西村の発展について—産業の変容を中心に		2012年9月	実践経営学会第55回全国大会(開催場所:久留米大学)	2009年、華西村は「天下第一村」と誉められ、華西村は中国の農村産業化発展の成功例として知らされている。華西村に関する研究成果はたくさんあるが、産業の角度に基づいて、華西村が急速に発展する過程に対する説明は多くない。本稿では、華西村の産業発展に焦点をあてて、以下の問題を究明する
2. ハイアールの経営者張瑞敏の経営について—経営の「意思」と「仕組み」を中心に		2013年6月	日本賃金学会第25回全国大会(開催場所:日本経済大学)	ハイアールは、中国の代表的な企業の一つで、2010年4月「business week」で「世界で最も革新的な企業50社」で28位ランクされグローバルである。ハイアール社の高成長が実現された要因は、経営者張瑞敏氏が確固たる経営の意思を持つこと、そして優れた経営システムが確立されたことである。本研究はハイアール社の経営管理システムなどについて調べ、ハイアール社の強みを考察するものである。
3. ハイアールの成長戦略を貫く基本コンセプト		2013年8月	実践経営学会第56回全国大会(開催場所:大阪経済大学)	本研究はハイアールの創業者張瑞敏に焦点を当て、ハイアール社の成長戦略ならびに経営管理システムなどについて調べ、ハイアール社の成長を支える中国古典管理思想からの基本コンセプトについて察するものである。
4. 中国民営企業華為(ファーウェイ)の人材戦略について		2014年8月	実践経営学会第57回全国大会(開催場所:北海学園大学)	本研究は華為の企業力を支える人材戦略に焦点を当て、華為の強みを探ろうとするものである。

<p>5. 華為（ファーウェイ）の成功を生んだ任正非の経営哲学について</p>		<p>2015年8月</p>	<p>実践経営学会第58回全国大会（開催場所：亜細亜大学）</p>	<p>華為の成功は、経営者である任正非の卓越した経営哲学と、彼の勤勉さ、リーダーシップにあると言われていいる。本研究は華為の企業家・経営者、任正非の経営哲学を明らかにしようとするものである。</p>
<p>6. 近代中国企業経営における儒教文化の浸透について —華僑経営者 陳嘉庚の事例を中心に—</p>		<p>2016年9月</p>	<p>実践経営学会第59回全国大会（開催場所：近畿大学）</p>	<p>近代経営者 陳嘉庚（英名：Tan Kah Kee）を取り上げ、その経営哲学と儒教文化との関係を考察にしようとするものである。</p>

教 育 研 究 業 績 書

2017年 5月 1日

氏名 徐 恩之 印

研 究 分 野		専 門 領 域		
マーケティング		営業、企業ブランド、国際マーケティング戦略		
授 業 ・ 教 育 向 け 業 績				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(区分) OIC				
キーパーソンの役割—法人営業の特徴	単著	2014年9月	同文館 セールスマーケティング・第9章 pp. 50-80	医療機器営業の活動に関する事例をベースとした教育資料である。
学 術 理 論 的 研 究 業 績				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(区分) PRJ				
営業担当者の志向と個人成果：部門間タスク・コンフリクトの媒介効果(査読あり)	共著	2018年3月	組織科学第51巻第3号	顧客志向のとコンサルティング志向に着目し、顧客志向は異部門メンバーとのタスクコンフリクトを下げ、個人成果を下げる一方でコンサルティング志向は、意見交換を活発にすることで個人成果を高めることを明らかにした。徐恩之・高永材
SOCO's impact on individual sales performance: The mediating role of cross-functional integration(査読あり)	単著	2016年11月	Journal of Japanese Management, Vol. 1, No. 1, pp. 68-73.	営業担当者の顧客志向と販売志向は相反する概念ではなく、両方のバランスにより成果を高める。販売志向は、個人成果を直接高めるが、顧客志向の場合、異部門メンバーとの連携を高めることで、個人成果に貢献する働きをすることを明らかにした。
The impact of horizontal conflict on reducing vertical conflict in Japan's retail organizations(査読あり)	共著	2017年	International Journal of Organizational Analysis, Vol. 25, Issue, 2.	小売企業の部門間のコンフリクトが部門内のコンフリクトにより下がる現象を、三角関係におけるコンフリクトの移転理論に基づき説明した上に、コンフリクトマネジメント方法を提案した。Eunji Seo and Katsuyoshi Takashima
国際マーケティング戦略における日本企業の標準化と国際経験に関する研究(査読あり)	単著	2016年8月	商学研究, Vol. 10, pp. 33-47.	本研究は、日本の製造企業においてマーケティングプログラムの標準化の有効性と国際経験の長さとの関係を明らかにしたものである。
医療従事者における自己犠牲志向と部門間連携が新機器受容に及ぼす影響(査読あり)	共著	2016年7月	医療と社会, Vol. 26, No. 2, pp. 167-178.	病院組織における新機器導入に関する意識を高める要因を心理的な側面と部門間連携との関係から捉えた。奥野友理子・元屋愛子・高嶋克義・徐恩之
The antecedents and consequences of effective brand positioning(査読あり)	共著	2015年10月	Asia Marketing Journal, Vol. 17, No. 3, pp. 1-19	企業の効果的なブランドポジショニングに関する手がかりを消費者調査を通じて明らかにした。Changju Kim, Eunji Seo, Junghwa Hong, Sangmin Kang, Stephen J. Newell
限定商品における製品マネジメント—ネスレキットカットの事例	単著	2015年3月	福山平成大学経営学部紀要 第11号、57-71頁	ネスレキットカットの限定商品における製品開発やブランド管理体制に関する考察を通じて、希少性を訴求する製品マネジメントに関するインプリケーションを提示した。
あきんどスシローの海外進出と知識移転	共著	2013年3月	福山平成大学経営学部紀要 第9号、108-127頁	日本の回転すし業界における最大手企業であるあきんどスシローの設立から海外進出までの成長を追跡し、海外においても国内と変わらない品質を維持するための経営陣の行動を、本社と海外営業部との知識移転、リーダーシップの観点から分析している。白貞任・徐恩之

“Balancing between exploratory and exploitative innovations: Moderating effects of interaction with international customer and corporate brand management in Japanese firms” (査読あり)	共著	2016年8月	Proceedings of 2016 International Academic Business Conference San Francisco, CA, pp. 1-10.	企業の探索と活用のイノベーション行動を両方強める組織体制や海外顧客顧客のタイプから明らかにした研究である。Eunji Seo and Yongjae Koh.
A cross-national study on export strategies and performance of Korean and Japanese firms(査読あり)	共著	2016年6月	韓国国際経営管理学会, pp. 1-18	輸出戦略の成果との関係を日本と韓国企業のサンプルを用いて分析した内容を報告した。Eunmi Kim, Insik Jeong and Eunji Seo.
Customer orientation, consulting orientation, and individual performance in a Japanese industrial company: The moderating role of task conflict between salespeople and sales support people(査読あり)	共著	2015年7月	2015 Proceedings of Annual Conference on Global Economics, Business and Finance pp. 48-66	顧客志向の志向と成果の関係が異部門とのコンフリクト管理方法によって影響をうける現象発生について報告した。Youngjae Koh and Eunji Seo
The impact of selling orientation on sales performance: The moderating effect of integration with other functional members(査読あり)	共著	2014年7月	2014 Global Marketing Conference at Singapore Proceedings, pp. 1-5.	営業担当者の販売志向が、技術部門担当者との連携を通じて、成果を高めることを報告した。Eunji Seo and Katsuyoshi Takashima
Examining strategies and implications for conflict reduction: The role of responsibility, creativity and risk-taking behaviors in Japanese retail companies(査読あり)	単著	2013年11月	Proceedings of the 11th SARD workshop, 2013年11月, pp. 277-294.	小売バイヤーと店舗間のタスクコンフリクトが関係性コンフリクトに発展する現象を抑制する要因について分析した内容を報告した。
Cross-functional communication behavior in a Japanese industrial company: The moderating role of alternatives(査読あり)	共著	2012年7月	KSMS 2012 Global Marketing Conference at Seoul Proceedings, pp. 1-5.	営業組織のコミュニケーション行動と代替案の存在をExit & Voice 理論に基づき説明し、定量的に分析した内容を報告した。Eunji Seo and Katsuyoshi Takashima
実 務 的 業 績				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(区分) OIC				
Japan Society of Marketing and Distribution	単著	2013年	Information Bulletin of the Union of National Economic Associations in Japan, No. 33, pp. 42-47.	日本商業学会の学会理念、歴史、近年のトピックスなどについて紹介した。
2012 Global Marketing Conference at Seoul 参加報告	単著	2013年	日本経済学会連合ニュース、No. 49, pp. 9-11.	2012年8月に参加したGlobal Marketing conference in Seoulで何を感じて学んだのか、また自分はどんな研究を発表したのかについて紹介した。

教 育 研 究 業 績 書

2017年 5月 1日

氏名 盧 曉斐 印

研 究 分 野		専 門 領 域		
商法・会社法		親子会社に関する法規制・ベンチャー企業をめぐる法規制の比較研究		
授 業 ・ 教 育 向 け 業 績				
著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(区分) OIC				
親子会社間の競業取引規制のあり方について： 子会社少数株主保護の観点から	単著	2016年12月	SBI大学院大学紀要4号	本稿は、平成26年の会社法改正に取り入れた親子会社規制が不十分であることに鑑み、親子会社間の競業取引規制を取り上げ再検討し、立法論としては、親会社の競業禁止義務の明文化を主張する立法提案(江頭提案)が基本的に妥当であり、解釈論としては、会社の機会の法理を条文化せず、親会社の競業禁止義務の内容の充実・補強ないし親子会社間の事業機会の分配への柔軟的な対応により、当該法理を有効に機能させるという立場をとるのが適切であると提言した。
上場会社における社外取締役の効果： 東芝不正会計事件を受けての再考察	単著	2015年10月	SBI大学院大学紀要3号	本稿では、社外取締役に関する法規制やソフトロー的な規制を概観し、現在のComply or Explain ルールの問題点を再確認し、実証研究の先行文献を分析したうえ、法規制としては、社外取締役を導入しない理由について柔軟に解釈した上、その監督機能と助言機能をさらに明確化する必要があると提言した。
中国会社法における資本制度改正についての考察：その問題点と実務への影響	単著	2014年10月	SBI大学院大学紀要2号	本論文は、2013年の中国会社法改正について、その背景、内容及びもたらした問題について網羅的に論じ、この改正は政治的な背景の下で十分な検討を経ずに行われたものであり、株主と債権者保護の観点から問題点が多いと指摘・分析した。
学 術 理 論 的 研 究 業 績				
著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(区分) OIC				
	単著			
(区分) PRJ				
実 務 的 業 績				
著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(区分) OIC				
報告 台湾親子会社に関する法規制の現状と問題点	単著	2016年5月	日中法制研究会	本報告では、主に企業グループの株主の保護という立場から、台湾の親子会社に関する法規制の現状と最新の裁判例について紹介し、日本の親子会社に関する法規制のこれからの方向性や方策について示唆を与えるものがあるか否かについて研究会メンバーの意見を伺った。
報告 日本における親子会社に関する法規制の現状と問題点	単著	2012年8月	台湾商法判例研究会	本報告では、主に企業グループの株主の保護という立場から、日本の現行法の親子会社に関する法規制の現状を紹介し、当時最新の法制審議会の議論及び「会社法制の見直しに関する要綱案」を参考にしながら、法規制の問題点を指摘し、考えられる解決策を紹介した。また、台湾の商法学者から台湾のかかる問題の法規制と展開されている議論を伺い、日本法の見直しにとって有益な情報をいただいた。

翻訳 加藤雅信等編『民法学説百年史 —日本民法施行100年記念』日本 語⇒中国語	共著	2014/12月	中国商務出版社	本著作は、日本の民法に関する諸論説について分析し、民法学説の集大成といえるもので、その中の第一章総論部分を翻訳させていただいた。
---	----	----------	---------	--

教 育 研 究 業 績 書

2017年 5月 1日

氏名 齋藤 慎 印

研 究 分 野	専 門 領 域
企業の社会責任、社会起業	ギフトエコノミー、女性の活躍

授 業 ・ 教 育 向 け 業 績

著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(区分) OIC				
被災地から日本をよくする100の方法 ～ギフト・エコノミーの幕開け	単著	2015年4月	NHK出版	東日本大震災の総体を把握するのはなかなか困難ですが、本書では、震災の際の支援方法、防災のためのアイデア、震災後にスタートした斬新な社会事業など被災地における100の取り組みを選び、関係者に取材、編集しました。選択の基準は「ギフト・エコノミー（与え合う経済）」という考え方に沿った行動であるかどうか。ギフト・エコノミーとは、自ら進んで与えることを前提に成立する経済で、需給関係で価格が決まり、貨幣の支払いと引き換えにモノやサービスが提供される取奪型の市場経済（マネー・エコノミー：奪い合う経済）とは異なり、「絆とクリエイティビティ」によって成り立つ経済です。現在、行き詰まり感のある資本主義世界において、被災地での絆で結ばれるクリエイティブな生き方、働き方の動向を知ることが、新しい展望となるのではないかという考え方が根底にあります。

学 術 理 論 的 研 究 業 績

著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(区分) PRJ				

実 務 的 業 績

著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(区分) OIC				
被災地から日本をよくする ギフト・エコノミーの可能性	共著	2016年10月	SBI大学院大学紀要 第4号	被災地では、震災の際の支援方法、防災のためのアイデア、そしてこれまでの資本主義のあり方を問うビジネスやプロジェクトなど様々な社会事業が展開されています。これらの活動は、実は、普遍性を有していて、注意深くその芽を育てれば、非常時でなくても、日本を、引いては世界を変える取り組みを見ることが出来ます。ある意味、被災地で活動している人たちは、今後の日本や世界にあるべき姿を示す、羅針盤のような存在と言えるかもしれません。今、被災地で何が起きているか？被災地で活躍する人たちはなぜ、東北だけでなく、日本や世界にインパクトを与える存在なのか？「ギフト・エコノミー（与え合う経済）」をキーワードに被災地における注目すべき新しい潮流を紹介しています。